

「健康づくり総合計画体系図」の説明

練馬区の現状について

練馬区では、健康づくり総合計画策定にあたり、「練馬区健康実態調査」を行っております。今回の計画策定にあたっては、平成 25 年 12 月に実施し、約 3000 人の区民のみなさんのご意見をいただきました。この実態調査から得られた数値や、国や東京都のデータをもとに、区の現状を捉えています。今回記載している内容は、計画策定の重点ポイントにつながるものをピックアップしております。

国の動向について

「健康日本 21 (第二次)」とは、平成 25 年からの第 4 次国民健康づくり対策です。この中に、「健康寿命の延伸」「健康格差の縮小」といった課題が挙げられていますが、区では、「健康寿命の延伸」を取り上げました。また、個人の健康づくりを支える「社会環境の整備」の必要性についても示されておりますので、国の動向として取り上げました。

最後の斜字部分は、練馬区健康づくり総合計画は、国の健康日本 21(第二次)や、「第二次食育推進基本計画」「健やか親子 21」が関連計画となるので、記載をしています。

課題について

健康寿命の延伸は、超高齢化社会を迎えるにあたり、国の大きな課題でもあります。また、こころの健康づくりについては、「産後のうつ」や「ひきこもり」「自殺予防対策」「高齢期のうつ」といった世代を超えた対策の必要があり、課題としています。3 つ目の「社会環境の整備」は、このたびの健康日本 21(第二次)に明記された内容であり、新たな考えとして、取組の必要のあるものとなりました。

目標について

課題解決にあたっての目標を示しました。区の現状や国の動向を踏まえ、大きな目標として、「健康寿命の延伸」と「健やかな暮らしを支える地域社会の実現」をあげています。

施策の柱

目標に向かって課題解決をするにあたり、様々な施策がありますが、その柱となるものを3つたてました。「1 生涯を通じた健康づくりを推進する」は、個人の健康づくりを推進する施策となります。「2 健康づくりにつながる地域の支え合いを促進する」は、個人の健康づくりを後押しする地域社会の実現に向けた施策となります。「3 健康を支え、守りための環境を整備する」は、予防接種による感染症予防や環境衛生や食品衛生など、健康を支える基盤を作る施策となります。

計画の体系

施策の柱に、各施策を示し、大まかな体系を示しました。ここに書かれている施策は、目標に向けて取り組む戦略となります。

また、特に目標達成のために重点ポイントとなるものを特記しています。

ここまでが、「健康づくり総合計画」として皆さまにお示しするものです。

別冊版：個別事業

戦略となる施策を実施するにあたっての戦術が書かれる部分です。各事業について、その概要や目標値などを示すものになります。